1609 ~~1069~~

縄文人の子孫

人とアクセサリーは大むかしからあった

縄文時代の人も石でアクセサリーをつかっていたそうだ

それがどんどん広がっていったのは紀元

交換でないでプレゼントによるということ

何となく　自分の行動をなっとくする

変った食器をやたら買っていた

今年にしているのは

スペインの昔のうつわだ

やき物のようだが　日本のやきものとは

ちがう　美に対する考え方がことなる

小さい小皿だが考えられない　その色がいい

デザインがいい

皿の内側　ふちかざり　中央にむかって六つの

流れがあり　その流れとところどころみどり系

もある　全体におちついた色だ

説明するのむつかしい

食器のお気に入りが多くなるが

ハルバーだれも使わない

どこでも買うことの出来るものしか使わない
それが無駄なんと思っていると思う
身につける アクセサリーは大きなソーイング
ボックス にイヤリング 胸につけていい
ものがあっている
私の家にいて来た奇跡そのものだ
今は何も使っていない
それらが 古い と思えるかもだ
古さの中のよさを 生かすことが出来た
かもだ
その時 その時の感覚の変化かも

これ等 どうでもいい 生活が身についてしまっている
何とかしたいと思って 口紅を買った
使っている ニールの上に さびしく
たっている
胸につけるもの ゆびわ ぐらい使うことに
したい 現在 もっぷ よしやれ できる
結婚人の子孫 もの

2022 12/28